

-MCFAJ CLUBMAN ROAD RACE 2018 第2戦-

(Text:Tomimoto Photo:Suzuki / Onuma / Mashiko)

- 天候に翻弄された富士大会、高速バトルを制したのは RisingSunRacing -



レースレポート

MCFAJ CLUBMAN ROAD RACE の 2018 年第 2 戦が 6 月 24 日(日)に富士スピードウェイで開催された。

予選は前日の大雨の影響で路面は濡れているが雨は止んでいる難しい状況。難しいコンディションでスピンするチームも多発する中、No.7 TeamOZEKI(大関・富本組)が 0.006 秒という僅差でポールポジションを獲得。今回新人パッセンジャーを起用した No.66 RisingSunRacing(渡辺・筒井組)が 2 位、以下 No.9 Team 赤蜻蛉(粕谷・大木組)、No.1 ヲァンダレーシングアツギ(清野・呉組)、唯一スリックタイヤでアタックした No.26 TeamIWAMOTO(岩本・森田組)、No.5 レイクス SUWA(吉野・小林組)、No.6 ヲァンダレーシングアツギ(原口・栗原組)、No.97 PortDouglasRacing(谷川・藤原組)という結果となった。

決勝レース序盤は No.66 RisingSunRacing、No.9 Team 赤蜻蛉、No.7 TeamOZEKI の 3 台がバトルを展開。新人パッセンジャーの様子を見ながら少しずつペースを上げた RisingSunRacing が逃げ切ってトップチェッカー。2 位争いは TeamOZEKI が制し、痛恨のスピンを喫した Team 赤蜻蛉が 3 位。昨年のチャンピオンの No.1 ヲァンダレーシングアツギは単独走行で 4 位、5 位はチェッカー目前までバトルを繰り広げた No.6 ヲァンダレーシングアツギ、0.4 秒差で惜しくも 6 位となった No.97 PortDouglasRacing、No.5 レイクス SUWA までが完走。No.26 TeamIWAMOTO は 3 周目にカウルが外れるというアクシデントで無念のリタイアとなった。

